



委員会

レポート

総務文教

て了承した。

厚生

一、調査年月日

平成十八年五月二十五日

二、調査項目

①保育所の運営について

②大成区国民保養センター入浴料について

③介護老人保健施設について

三、調査の結果

①保育所の運営について

せたな町立保育所については、次のとおり保育所三施設へき地保育所四施設が開設されていた。(別表)

保育所の運営について合併時には、それぞれ保育時間、保育料に格差が生じていたが、平成十八年度から統一し、また、特別保育事業として延長保育、一時保育にも取組み保護者の保育ニーズの充実に努めていた。

保育士の配置については、国の定める基準を用途に配置し、必要に応じてパート職員を時間単位で雇用し児童の安

を受けた。
③旧若松中学校の解体について

現在進められている北檜山小学校校舎改築工事において、校舎と現在の体育館を結ぶ仮設の渡り廊下について、当初現小学校の解体材を活用し計画していたが、解体が八月以降となり二学期の授業に支障をきたすことから、旧若松中学校に設置されている自転車小屋(平成五年度設置)と校舎の窓枠アルミサッシ等を有効活用することで、経費節減や短期間で設置可能ということで計画され、この際旧若松中学校の解体も併せて実施したいとのことである。

あった。
④救急自動車の寄贈について

全国共済農業協同組合連合会(JA共済連)北海道本部から寄贈救急自動車の配置要望調査が檜山広域行政組合にあり、町とせたな消防署とで協議し、寄贈される普通救急自動車に高度救急資機材を積載し、高規格救急自動車と同様の機能を有した救急自動車の導入を図ることとし、配置要望の申請をしたところ、地元農協関係者のご尽力により五月十日付けで寄贈が正式決定(救急自動車本体のみの寄贈で約五百万円相当)されたとのことである。

この救急自動車は、せたな消防署(北檜山区)の救急自動車が老朽化していることから、北檜山区に配置を予定していた。

⑤せたな町広告掲載取扱要綱について

せたな町が発行する広報せたなへの広告掲載及びホームページへのバナー広告掲載について、その取扱について内容説明を受け、本委員会とし

行った結果、五月末現在で八十五%程度の進捗状況であり七月末の校舎改築工事の完了に向け順調に工事が進められていることを確認した。

②グループホームの建設予定地について

瀬棚区の「(有)ケアーステーションせたな」からのグループホーム建設に係る町有地の借地要望については、町が示す土地について再度町と業者との協議を重ねることとし、継続調査としていた。その結果、業者からは町が示す土地(旧豊岡団地跡地)については、国道から近く騒音が懸念され、また用地の盛土も必要となることから町有地の利用を断念され、新たに民有地(北檜山区徳島五十八番一)約一、四〇〇mを購入し建設を予定しているとの報告

を受けた。

③旧若松中学校の解体について

現在進められている北檜山小学校校舎改築工事において、校舎と現在の体育館を結ぶ仮設の渡り廊下について、当初現小学校の解体材を活用し計画していたが、解体が八月以降となり二学期の授業に支障をきたすことから、旧若松中学校に設置されている自転車小屋(平成五年度設置)と校舎の窓枠アルミサッシ等を有効活用することで、経費節減や短期間で設置可能ということで計画され、この際旧若松中学校の解体も併せて実施したいとのことである。

この救急自動車は、せたな消防署(北檜山区)の救急自動車

が老朽化していることから、北檜山区に配置を予定していた。

せたな町が発行する広報せたなへの広告掲載及びホームページへのバナー広告掲載について、その取扱について内容説明を受け、本委員会とし

一、調査年月日

平成十八年五月十日

二、調査項目

①北檜山小学校校舎改築工事

の進捗状況について

②グループホームの建設予定地について

③旧若松中学校の解体について

④救急自動車の寄贈について

⑤せたな町広告掲載取扱要綱

について

三、調査の結果

①北檜山小学校校舎改築工事

の進捗状況について

北檜山小学校校舎改築工事については、前回調査したときと同様に改築現場の現地調査を

行った結果、五月末現在で八十五%程度の進捗状況であり七月末の校舎改築工事の完了に向け順調に工事が進められていることを確認した。

瀬棚区の「(有)ケアーステーションせたな」からのグループホーム建設に係る町有地の借地要望については、町が示す土地について再度町と業者との協議を重ねることとし、継続調査としていた。その結果、業者からは町が示す土地(旧豊岡団地跡地)については、国道から近く騒音が懸念され、また用地の盛土も必要となることから町有地の利用を断念され、新たに民有地(北檜山区徳島五十八番一)約一、四〇〇mを購入し建設を予定しているとの報告

を受けた。

この救急自動車は、せたな消防署(北檜山区)の救急自動車

が老朽化していることから、北檜山区に配置を予定していた。

全に万全を期しているが、各保育所により保育士の人数に差があることから、今後平準化した配置に努めるとのことである。

給食業務は、北檜山、瀬棚保育所は業者に委託しているが、大成保育園は直営で調理人を雇用し実施していた。

へき地保育所は、各地域の保護者のニーズにより保育期間、保育時間を設定し、必要な職員を配置し開設されていた。丹羽地保育所は、現在町内会館を借用し開設されており、町内会がいつでも使用できるようにしているとのことである。

地域子育て支援センターについては、瀬棚区において保育所内で実施されていたが、今年度から北檜山区においても国保病院隣に設置され、子育て相談や育児講座、子育て情報誌の発行など、専任の保育士を配置し子育て支援の充実を図っていた。

学童保育所については、昼間保護者が家庭にいない小学校低・中学年の放課後児童の

健全な育成を図るため、北檜山区、瀬棚区で設置されており、現在北檜山区は二十三名、瀬棚区は十一名入所されている。北檜山区では学童保育所

父母会へ指導員を委託し常時二名体制で保育されており、瀬棚区については保育士（臨時）一名を配置していた。北檜山学童保育所は青少年セン

	名 称	定員	保育期間	保育時間	入所児童数	保育士数
保 育 所	北檜山保育所	90	通 年	(平日)8:30~17:00 (土曜)8:30~12:30	66名 (3歳未満28名 3歳以上38名)	正職員5名、臨時3名、パート8名
	瀬棚保育所	80	通 年	同 上	85名 (3歳未満30名 3歳以上55名)	正職員4名、臨時2名、パート4名
	大成保育園	60	通 年	同 上	32名 (3歳未満2名 3歳以上30名)	正職員3名 臨時3名
へき地保育所	若松地保育所	60	4~12月	(平日)8:00~16:00 (土曜)8:30~12:30	10名 (3歳未満8名 3歳以上7名)	臨時2名
	丹羽地保育所	60	4~12月	同 上	6名 (3歳以上6名)	臨時2名
	馬場川保育所	10	通 年	(平日)8:30~17:00 (土曜)8:30~12:00	5名 (3歳未満1名 3歳以上4名)	正職員1名 パート1名
	島歌保育所	10	通 年	同 上	7名 (3歳未満1名 3歳以上6名)	正職員1名 パート1名

ター内の一室で開設しているが、非常に狭いことから、施設内の別の部屋への移転について、施設を管理している教育委員会と協議すべきであるという意見であった。

②大成区国民保養センター入浴料について

高齢者等の温泉入浴料については、平成十八年度から町内に在住する六十五歳以上を対象に、町営の公衆浴場（北檜山いこいの家、瀬棚公営温泉浴場）の入浴料を一律二百円で「高齢者温泉入浴カード」を発行しているが、大成国民温泉保養センターについては、運営主体が温泉公社でありカードの利用対象外とし、従来どおり大成区老人クラブの活動に対し助成とすることとしていた。

しかし、カード発行後にいて大成国民保養センターでのカード利用に対する問い合わせが多く寄せられたことから、町民の不公平感を是正する対応として次のとおり取り扱うことで理事者側から報告を受けた。

- 一、「大成国民温泉保養センター」を高齢者温泉入浴カードの利用対象施設とする。
- 二、温泉保養センター入浴料三百六十円のうち高齢者入浴料二百円との差額百六十円を

助成する。

三、大成区老人クラブ入浴料金助成は廃止する。

四、助成方法は、実績に基づき町が温泉公社に交付する。

③介護老人保健施設について
旧瀬棚町において計画されていた介護老人保健施設の建設について、助役から町としての今後の考え方について説明を受け、本委員会としては、せきたな町議会医療対策等調査特別委員会に協議を委ねることとした。

建設

一、調査年月日

平成十八年五月十九日

二、調査項目

・平成十八年度各区における継続事業について

三、調査の結果

各区における継続事業等（建設水道課関係）の計画について、今回現地調査を実施したのは次の表のとおりである。（別表）

産 業

事業については、合併前の三町合併協議会において策定された新町建設計画に盛り込まれている。

重ねながら優先順位をつけ事業推進に努めるとの考えが示された。

しかし、町財政は逼迫した状況であり財政再建を優先に進めていかなければならないことから、随時議会と協議を

なお、本委員会としては財政の健全化を図りながらも、早期の事業推進に努力されたという意見であった。

事業名	事業実施期間	場所
温泉4号井開発事業 (1号井代替施設整備)	昭和59年度～	北檜山区徳島
町道川沿通線改良事業(継)	平成12年度～ 平成19年度	北檜山区北檜山
町道5号線改良事業	平成20年度～ 平成21年度	北檜山区北檜山
特定環境保全公共下水道事業	平成10年度～ 平成22年度	大成区上浦～花歌
上水道更新事業	平成20年度～ 平成30年度	大成区貝取澗～富磯
町道白浜通線災害防止事業	平成19年度～ 平成21年度	大成区都
町道旭線改良舗装事業(継)	平成18年度～ 平成19年度	瀬棚区本町
町道馬場川鈴の原線改良事業	平成20年度～ 平成26年度	瀬棚区東大里

一、調査年月日

平成十八年四月二十八日

二、調査項目

①本町における観光振興策について

②国民宿舎あわび山荘の運営について

三、調査の結果

①本町における観光振興策について

本町における観光振興については、地域経済を支える基幹産業と位置づけ、従来から滞在型観光の確立のため広域観光振興に取り組んでいるが、恵まれた環境資源をもっているが活かしていきたくないのが現状であり、今後も近隣町村等との連携を強化し、各種観光客誘致事業に取り組んでいくとのことである。

本町のイベント事業として主なものは、水仙まつり、わっためがして大成、漁火まつりが代表的なイベントであるが、各区の観光協会が平成十

九年四月一日に合併を予定しており、新せたな町としての共通イベントの検討及び内容の充実を図っていくとのことである。

なお、担当課より観光振興策についての資料説明を受けたが、次回の委員会開催までに各委員においてそれぞれ調査研究し、継続して調査していくこととなった。

②国民宿舎あわび山荘の運営について

国民宿舎あわび山荘については、(財)貝取澗温泉公社と管理委託をし、住民等の健全な憩いの場としての休養施設として親しまれる施設づくりを目指しているが、利用者数の減少及び重油・灯油の価格高騰が主な要因により、平成十七年度において赤字欠損額▲一千三百六十五万五千五百円が生じていた。

この平成十七年度赤字欠損額については、「管理委託契約に係る覚書」により町に赤字欠損額の補填願いが提出され、覚書の二項に基づき二百

五十万円を町費補填したいとのことである。

また、燃料費についても重油・灯油の価格高騰により当初予算と比較し二百九十万八千円が支出増となり、燃料費の一部補填願いも提出され、担当部局として経済状況のやむを得ない事情と判断し、燃料費の一部二百九十万円を町費補填したいとのことであり、この赤字欠損額合計五百四十四万円の補填については、六月定例会で補正予算の提案をしたいとのことである。

平成十八年度の運営としては、職員給与の十五%削減に踏み込み経費の節減に努め、前年度対比一千八百三十六万円の減として計画されている。

また、公社の職員の辞職により町職員の派遣要請を受けたことから、特例の措置として、五月一日から二年間を目途に職員一名を派遣し、経営の再生に向け支援をしていきたいということである。

委員会としては、公社の一層の経営改善努力を進め、町は積極的なPR等の促進、研

議会の動き

◆ 4 月 ◆

- 3日 大成区交通安全祈願祭
- 5日 瀬棚区議員協議会
- 17日 桧山支庁管内町村議会議長会（江差町）
- 27日 道南地区林活議員連盟連絡会役員会（七飯町）
- 28日 第2回産業常任委員会

◆ 5 月 ◆

- 10日 北檜山町婦人奉仕活動協議会・北檜山町ぼけても安心して住める地域をつくる会総会
第2回総務文教常任委員会
第6回議会運営委員会
第7回議員協議会
- 11日 第2回広報発行特別委員会
- 15日 平成18年度瀬棚町商工会通常総会
- 17日 第3回臨時会
第2回医療対策等調査特別委員会
- 19日 平成18年度せたな町高齢者大学合同入学式
第2回建設常任委員会
せたな町建設協会懇談会
- 21日 せたな町大成消防団春季消防総合訓練大会
在札太櫓会定期総会（札幌市）
- 23日 参議院議員中川義雄政経セミナー（札幌市）
- 25日 第1回厚生常任委員会
- 26日 檜山総合開発期成会総会・雲石道路早期完成促進期成会（江差町）
- 31日 檜山総合開発期成会中央要望（東京都）6月1日まで

◆ 6 月 ◆

- 2日 第1回北部檜山衛生センター組合議会臨時会
第2回北部檜山衛生センター組合し尿処理施設調査特別委員会
- 4日 サッポロ瀬棚三杉会総会（支笏湖）
- 5日 姉妹都市ハンフォード市訪問団歓迎会
- 6日 第3回総務文教常任委員会
第3回医療対策等調査特別委員会
第8回議員協議会
北檜山町観光振興公社第12回定期株主総会
- 8日 北海道議長会第57回定期総会（札幌市）9日まで
- 15日 第7回議会運営委員会
- 17日 せたな町北檜山消防団消防総合演習
第11師団創立44周年・真駒内駐屯地開庁52周年記念行事（札幌市）18日まで
- 20日 第2回定例会
第4回医療対策等調査特別委員会
- 21日 第2回定例会
- 29日 地区別議員研修会（札幌市）30日まで

究を図るとともに、今後の経営、施設を含めた将来の展望を明確にし、今後早急に進めるべきという意見を付して、この措置についてはやむを得ないと判断した。

また、赤字補填の補正に係る各議員への説明、議員協議会等の開催については議長の判断に委ねることとした。

全道議員研修

全道議員研修会が、6月29日、札幌市「コンベンションセンター」で行われました。

せたな町議会からは29名の議員が参加しました。

午前の講師は、(財)地方自治総合研究所研究理事・主任研究員、辻山幸宣氏により、「分権時代の地方自治、その現在と未来」と題して講演され、午後の講師は、元経済企画庁長官・福山大学教授・「民権塾」主宰、田中秀征氏が「政局展望」と題して、講演が行われました。



編集後記

▼北海道の各市町村において、国の三位一体改革による地方交付税や国庫支出金の削減により厳しい財政運営であると新聞報道されておりました。せたな町の財政運営もこの影響を受け、大変厳しいものがあります。町づくりとどう絡めて運営していくか、葛藤の日々が続きそうです。

▼過日、中体連の全道野球大会に大成中学野球部が参加し観戦してきました。少子化の中、二年生女子を加えてのチームで参加し、惜しくも一回戦で敗れましたが、よく健闘したと思っています。

▼議会広報五号をお届け致します。町広報は結果を、議会広報は経過を知らせるものとのことですが、町民の皆さんにはこの過程がお知らせできているでしょうか。

議会広報発行特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 阿部 馨 |
| 副委員長 | 菊地 繁雄 |
| 委員 | 大根田 登 |
| | 熊野 主税 |
| | 正村 敬寛 |
| | 澤田 光子 |